

女川2号機における安全対策工事 完了目標時期の見直しについて

< 関連報告 >

平成30年6月1日
東北電力株式会社

1. 女川2号機の適合性審査の状況

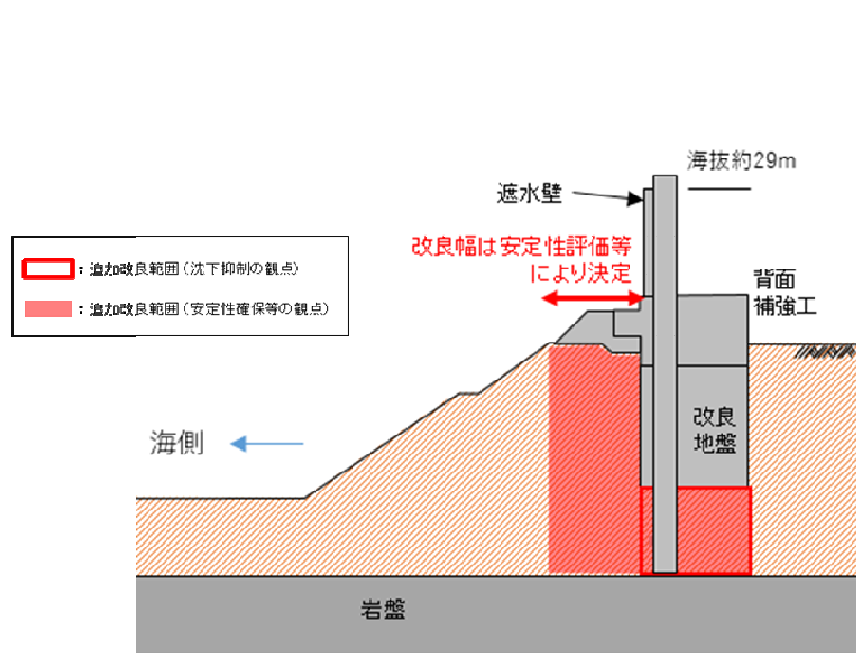
- ❑ 「地震・津波の審査」では、これまでに、基準地震動や基準津波ならびに火山影響評価等で「概ね妥当な検討がなされている」との評価をいただくなど、審査は着実に進捗
- ❑ 「プラント(設備)の審査」は、昨年10月以降、審査が本格化してきており、建屋の健全性や地盤の液状化などの重要な論点をはじめ、各審査項目について順次説明を行っているが、今後も一定の期間を要する見込み
- ❑ 審査と並行して鋭意取り組んでいる安全対策工事については、審査の過程で得られた知見・評価などを適宜反映しながら、設計や工事を進めていくことが必要な状況
- ❑ こうした状況を踏まえ、従来、「2018年度後半」としていた安全対策の工事完了目標時期を、「2020年度」に見直した

(2018年5月末現在)

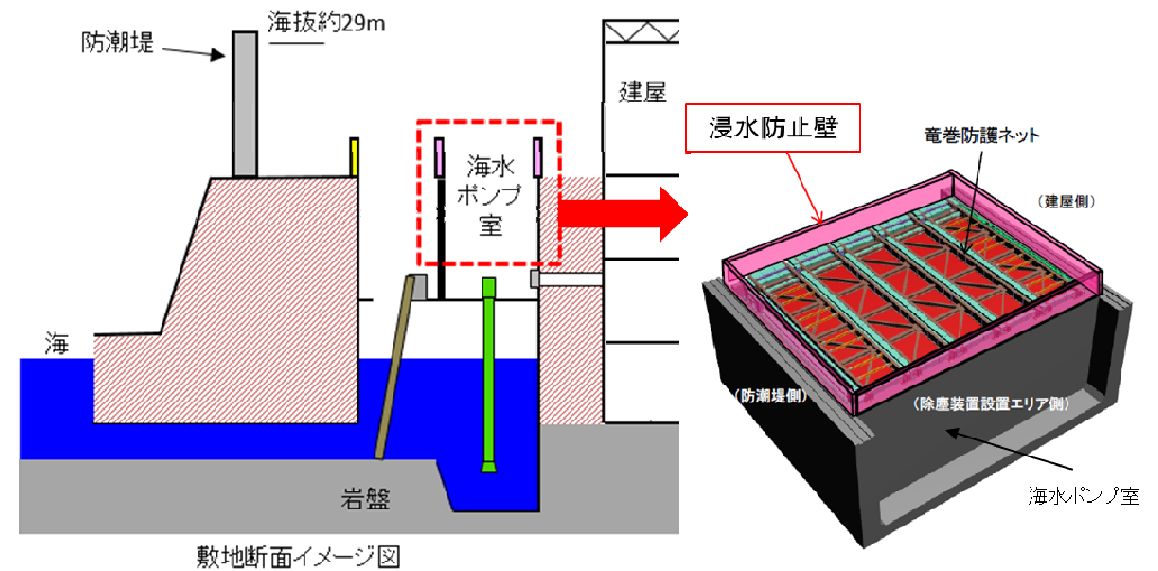
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	審査会合回数
地震・津波の審査		▼申請(2013年12月)		▼現地調査(2016年6月)		▼現在	119回
プラント(設備)の審査			▼現地調査(2015年1月)	▼[東京電力柏崎刈羽6、7号機集中審査開始(2015年8月~)]	▼審査会合本格化(2017年10月~)	▼現地調査(2017年11月)	
				(中断)		▽一通りの説明は、2018年7月末までに終える予定	

2. 安全対策工事(追加・変更)の例

□ 適合性審査の過程で得られた知見・評価を設計に反映している工事の例



①防潮堤下部の地盤改良(断面図)



②海水ポンプ室への浸水防止壁の設置